

課題対応取組報告書

【共通】

名称	高松・文の里地域総合相談窓口
提出日	令和 7 年 5 月 17 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設（居場所づくり等）
	<input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援	<input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
活動テーマ	新たな相談窓口として周知をする。	
地域ケア会議から 見えてきた課題	地域住民にとってより身近な相談先として、総合相談窓口（ランチ）（以下「ランチ」という）の周知不足があげられる。また各地域の情報共有や課題抽出について協議していく場が必要である。	
対象	地域住民、支援関係機関など	
地域特性	高松地域：地域を大きな道路が分断していて南北で地域活動への参加率に違いがある。 文の里地域：昔ながらの一軒家が多い。会館が地域の真ん中にあり住民が活動に参加しやすい。 常盤地域：人口が多く高齢化率は低いが高齢者人口は多い。地域の会館が3か所ある。	
活動目標	・地域包括支援センター（以下「包括」という）や地域にある事業所などと連携し、地域で行われている百歳体操などの既存の活動の場を定期的に訪問し、活動及び他機関の活動と組み合わせることで交流と相談どちらもできる居場所として機能を広げていく。包括と連携しながら小地域ケア会議が開催できるよう地域関係者や関係機関と相談していく。	
活動内容 (具体的取組)	・ランチの周知活動と出張相談を目的に、地域で行われている百歳体操や食事サービスなど既存の活動の場へ定期的に参加した。また地域のイベント等にも積極的に参加し、幅広い世代と連携を図った。 ・地域交流と相談、どちらもできる場所を他機関の活動（認知症当事者の野菜販売）と組み合わせて行った。 ・ランチ圏内で、地域関係者や関係機関、包括と情報共有し、地域について考える場として小地域ケア会議を立ち上げた。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	・定期的に地域活動に参加したことでランチの周知に繋がり、住民や地域関係者からの相談に繋がってきている。 ・講演会依頼も地域関係者から直接相談が入った。 ・他機関の活動と組み合わせた交流の場では、少しずつ相談が入るようになってきた。 ・小地域ケア会議を立ち上げたことで、地域関係者の声を聴くことができ、地域課題に取り組んでいく基盤ができた。 ・地域活動参加者から「嚙下に配慮した食事」に関する講演会をしてほしいと依頼があり、講師を選任し講座を実施した。	
今後の課題	・周知活動は少しずつ成果が表れてきている。しかし相談の大半が包括を通じて入っているのが現状。地域活動の場に継続して参加することで地域住民と顔の見える関係性を構築し、地域の身近な相談窓口として機能していく。 ・地域活動に参加する顔ぶれが固定化しており、新たな参加者が増えるような取り組みが必要である。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区ランチ 運営協議会開催日	令和 7 年 7 月 2 日（水）	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input checked="" type="checkbox"/> 専門性 <input type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目（特性） についてのコメント * 今後の取組継続に向けて、区ランチ運営協議会からの意見等を記載。	北部包括支援センターと協働して、地域へランチの広報活動を展開し、小地域ケア会議を立ち上げ、地域課題に取り組む基盤を作った。その成果として地域住民や地域関係者からの相談も増えている。地域からの要望を受け、食事に関する講座を専門の講師に依頼し開催した。	

課題対応取組報告書

【共通】

名称	昭和地域総合相談窓口
提出日	令和 7 年 5 月 26 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等 <input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 社会資源の創設 (居場所づくり等) <input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	認知症の方や地域の方など、誰もが気軽に参加できる「集いの場」の構築を目指して Part.2	
地域ケア会議から 見えてきた課題	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅生活が可能な時期に包括やランチに相談が上って来ず、重症化してから相談に来るケースがある。 ○早期発見・早期対応に向けたアプローチ (包括・ランチの周知等) が弱い。 ○認知症に対する市民の知識や理解がまだまだ不足している。 ○繋がりのない高齢者が身近に集いやすい居場所が不足している。 	
対象	認知症当事者やその家族、地域住民、地域関係者、介護・福祉専門職等	
地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ○南北に長い地域で、北部は新しいマンションや商店が多く、学校も多くあり、老若男女人の流れが盛んである。中部は大きな池や公園があり古くからの閑静な住宅地、南部は単身者向けマンションや文化住宅が多い。地域によって経済格差が大きい。 ○圏域内には3箇所地域の会館があるが、各会館ともに活動行事が減っており、集いの場が少なくなってきた。 	
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症当事者やその家族、地域住民など、誰もが気軽に参加できる認知症カフェ (集いの場) を運営する。 ○認知症カフェを通じて、参加者同士のコミュニケーションの場だけでなく、気軽に相談できる機会を設けることで、孤立の防止や介護負担の軽減を図るとともに、早期発見・早期対応を目指す。 ○認知症に対する正しい理解を深める機会を作る。また認知症予防に繋がる活動をカフェで展開する。 	
活動内容 (具体的取組)	<ul style="list-style-type: none"> ○令和5年9月に高齢者サービスセンターいくとくⅡにて、長池地域では初となる認知症カフェ (オレンジカフェいくとく2) を開設した。月1回の開催 (毎月第一土曜日13時～15時) で、定員12名の小規模なカフェ。 ○参加者には飲み物と軽食を提供し、慌ただしくない落ち着いた雰囲気、誰もが気軽にコミュニケーションができて参加者同士楽しく過ごせられるような環境を目指して運営している。 ○認知症や健康にまつわるミニ講座なども行い、認知症に対する正しい理解促進を行っている。 ○認知症予防の一環として、毎回参加希望の方には「折り紙教室」も行っており、認知症の方や折り紙が苦手な方にはスタッフが側に付き、丁寧に対応している。完成した作品は自宅にも飾れるように内容にも工夫をしている。 ○介護に関することや認知症に関する事など、様々な相談内容をその場で対応している。 	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症カフェを開設して、約1年半が経過するが、現在は平均10名前後参加して下さっており、少しずつ地域にカフェの存在が浸透してきている。また参加者や地域福祉コーディネーター等が地域住民を紹介して下さったりと毎回多くの方に参加していただいている。カフェを通じて自然な形で和やかな参加者同士の交流も生まれている。 ○認知症カフェを通じて、介護に関することや認知症に関する事など相談を受ける機会が増え、また近隣で気になる高齢者を紹介して下さったりと、早期発見・早期対応に繋がり、孤立防止や介護負担の軽減を図ることができた。 ○認知症予防の一環としての「折り紙工作」では、認知症の方や折り紙が苦手な方でもご自身で作品を完成させる喜びを実感していただくためにスタッフがフォローしている。また、参加者同士でも助け合ったりしており、認知症の有無関係なく、自然な形でコミュニケーションが生まれている。 	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○オレンジカフェいくとく2は、定員12名と小規模なカフェの為、今後も慌ただしくない落ち着いた雰囲気、様々な方との交流を楽しめるカフェを目標に、持続可能な安定した運営を目指す。また、新しい参加者が参加できるように今後も各関係機関と連携していく。誰もがいつ来ても楽しめる場「地域の集いの場」づくりを大切にしていきたい。 ○総合相談窓口の周知や認知症への正しい理解については、地域レベルで見るとまだまだ弱い。今後は幅広い世代の地域住民に向けて、包括や社協、地域関係機関等と連携し、取り組んでいきたい。 	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和 7 年 7 月 2 日 (水)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目 (特性) についてのコメント	認知症カフェの継続に携わり、参加者も一定数となり、認知症カフェが地域に密着・浸透している。昭和ランチとして、長く地域と密接な関係を築き、地域の課題に対しても積極的に取り組む姿勢がみられた。さらに、独自の情報誌を定期的に発行したり、ミニ講座を企画するなど、発想豊かに活動している。	
* 今後の取組継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。		